

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

Table with 4 columns: 事業所番号, 法人名, 事業所名, 所在地, 自己評価作成日, 評価結果市町村受理日. Content includes 0195000229, 社会福祉法人 北見陸会, グループホーム かがやきの里むつみ5号館・6号館, 北見市端野町端野25番2, 令和3年3月15日, 令和3年5月19日.

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度の公表センターページで閲覧してください。

Table with 2 columns: 基本情報リンク先URL, URL: mhlw.go.jp/01/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigvosvoCd=0195000229-00&Se

【評価機関概要(評価機関記入)】

Table with 4 columns: 評価機関名, 所在地, 訪問調査日. Content includes 有限会社 NAVIRE, 北海道北見市とん田東町453-3, 令和3年3月29日.

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

少しづつ、自分らしく、ありのままにを基本理念に基づき、健康、生活に不安なく安心して暮らしていけるよう支援しています。
地域、方々の慰問や交流を持ち、施設での生活を楽しまれるよう職員一同で工夫し取り組んでいます。
また、明るく楽しくゆったりと生活ができるよう支援しています。
また、利用者様の望むことを可能な限り支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

社会福祉法人陸会が運営するグループホーム「かがやきの里むつみ5号館・6号館」は、平屋建て2ユニットで運営されており、小規模多機能事業所を併設し、運営推進会議やコロナ禍以前には共同で災害避難訓練や行事の開催等を協力して行なっています。事業所が位置する地域は、同法人運営の地域密着型特別養護老人ホーム、社会福祉協議会端野支所、社協運営のデイサービスがあり、端野地区の福祉エリアに成っています。管理者は昨年隣接する地域密着型特別養護老人ホームから異動となり、今年4月からはグループホーム、小規模多機能事業所の責任者として、事業所の更なる質の向上に向けて変革に取り組んでおり、ヒヤリハット記入の様式の変更や職員の意識改革、法人と様々な統一を図りながらサービス向上に繋げています。事業所では、『少しづつ、自分らしく、ありのままに』の基本理念に加え、毎年、理念に基づく目標を作成し、職員は理念を具体的に意識し、利用者に寄り添い、利用者本位の介護の提供に取り組んでいます。利用者の日々を支える介護記録にも工夫が見られ、利用者の情報(バイタル、食事、水分、排泄、介護計画実施等)が一頁で分かる様式となっており、裏面には利用者、家族の意向と介護計画短期目標が記されています。介護計画は施設サービス計画評価表で毎月評価し、具体的な支援の把握が出来る様になっています。コロナ禍の現在、外出や面会が制限される中で、少しでも顔を見て安心して頂ける様に、事務所の窓越しに玄関での面会を可能にしたり、外出できない利用者のストレス解消の為、事業所内で出来る運動や手作りおやつ等レクリエーションを実施して楽しさを提供し利用者を支えています。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目№1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

Large table with 4 columns: 項目, 取り組みの成果 ↓該当するものに○印, 項目, 取り組みの成果 ↓該当するものに○印. Rows 56-62 contain evaluation data for various service aspects.

自己評価及び外部評価結果

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	理念はユニットに掲示し共有、利用者様一人ひとりがその人らしい生活が送れるよう努めている。	理念をリビングの目に付く所に掲示すると共に会議時に話し合い浸透を図っています。毎年理念に基づく目標を作成し、年度末には振り返りを行い、理念に沿った実践を心掛けています。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に加入し、地域清掃等参加、当施設研修会の回覧、地域の小学校、保育園等の慰問、または避難訓練、焼肉会のお手伝いの協力をお願いし、交流を深めています。	町内会活動への参加や事業所の行事に招待したり、災害対策への協力を得たり、小学校や保育所の慰問等、協力や交流関係を築いています。神社のお祭りには神輿が利用者を楽しませていますが、今年はコロナ禍の為様々な交流が出来ない状況と成っています。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議等で状況報告、質問等には支援方法等答えている。また、当施設研修会参加のお知らせをしました。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	利用者様、ご家族様、町内会、包括支援センター、地域民生委員等が構成員とし、事業報告、そこでの意見を反映できるようスタッフへ報告しサービス向上に努めている。	2カ月ごとに併設の小規模多機能事業所と合同で開催していましたが、今年度はコロナ禍の為書面での開催と成り、議事録を参加メンバー、家族に郵送し、理解を得ています。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	解らないことや、困難事例に対して行政に相談し指導を仰いでいる。	行政とは、情報交換や疑問点を尋ねアドバイスを頂く等、連携に努め、サービス向上に反映する様に取り組んでいます。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	法人全体(年2回)も研修を行い、理解を深めている。また、2ヶ月に一回の身体拘束委員会で話し合い、施設全体で拘束を行わないケアに取り組んでいます。また、日中の施錠は行っておりません。	法人で身体拘束廃止委員会を開催しており、事業所職員も参加をしています。例年は法人主催の研修会が年2回開催されていますが、今年度は部会報を回覧し理解を促し、身体拘束をしないケアに努めています。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	法人全体での虐待研修に参加し、理解を深めている。また、傷、発赤等の確認をし、チェックシートに記入、虐待防止に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	活用されている利用者様はいないが、法人研修等に参加し理解、実践に取り組み支援します。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、改定時は説明、ご理解いただけるよう努めています。また、契約後も解らないことや疑問点は聞いていただき説明できるようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	利用者様、ご家族様より意見、要望があれば話し合い、要望に応えられるように努めている。	毎月の事業所便りに加え、その月の行事や利用者の様子を記し家族に郵送すると共に何かあった時には速やかに電話で報告し、家族に安心して頂き共に何でも言って頂ける関係を築いています。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	カンファレンスで意見を聞いたり、個々が意見を提案することもあるが、それを職員が思っているようには反映できていない。	管理者はユニットごとに開催するミーティング時や人事考課の開催時、日常業務時に職員の意向や提案の把握に努め、法人と連携し、サービスの向上、就業環境整備にに繋げています。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	法人全体での資格取得のための補助、自己を高める研修を設け向上心アップにつなげる努力はしているものの給与水準、労働時間等不満を抱えるスタッフも少なくなく職員不足が解消できず業務の負担も大きい状態である。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	法人の内部研修参加に力を促している。外部研修は回覧としているが意欲的な方の参加のみで、参加できる環境にしていきたい。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他事業所との交流はなかなか取り組めていないが、研修等で交流を深めサービス向上に取り組めるよう努めていきたい。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	面談時より不安、要望等を把握しスタッフ全員が共有し、安心感を持っていただけるような関係づくりに努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	相談時より、ご本人様、ご家族様の不安、要望等を把握するよう努め、信頼関係を築くよう努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人様、ご家族様が今何を必要としているのかを見極めサービスにつなげるプランを作成している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご本人様の希望、能力に応じて一緒にできるような心掛けています。職員が行うことも多く少しでもできることを多くし共に支えられる関係を肩き上げていきたい。		
19		○本人を共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時、または電話等で利用者様の様子等を報告し、ご家族様と情報を共有しともに支援していくことに努めています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	利用者様のご家族や友人、知人様ができるようになっている。また、併設の小規模多機能事業所への行き来も自由に行っている。	コロナ禍以前には友人、知人の訪問や遠方の家族の訪問が有り、歓迎して利用者のこれまでの関わりを大切にされた支援に取り組んでいます。家族の協力を得ながら希望のかかりつけ医に行っています。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者様同士の関係を把握し、孤立しないようスタッフが間に入り関わりあい支援できるよう努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	修了後も関係を大切に必要時には支援できるよう努めている。		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常の会話、行動等で利用者様の希望、思いを汲み取るよう努力し、カンファレンス等で話し合い、困難時にはご家族様とも相談しご本人様の思いに応えられるよう努めています。	管理者、職員は日常的に利用者と接する中で会話や様子から、意向や暮らし方の希望の把握に努め、意思表示の出来ない利用者には家族からの情報やこれまでの関わりから推測し、職員間で共有して意向に沿った対応に努めています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	アセスメント時、利用者様、ご家族様からお話を伺い把握し、スタッフ同志共有し、今までの生活に近づけるよう努めています。			
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	生活記録に記録し、心身状態の変化を見落とさないよう現状把握し、自立支援に努めている。			
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要の関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	カンファレンスを行い、思いや状態を踏まえ、ご本人様、ご家族様、医療とも連携をし、意見を反映させスタッフが同じケアを行えるよう努めている。	利用者、家族の意向を確認し、計画作成者によるモニタリング、職員参加のカンファレンスで状況に即した介護計画を作成しています。職員に最新の介護計画を配布し常に確認が出来る様になっています。介護記録の裏面に利用者、家族の意向と短期目標が記されており、実施状況が番号で記録されています。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	一日の様子を生活記録、送りノートに記録し、スタッフ間で情報を共有し、カンファレンスで必要事項を話し合い、実践、見直しに活かしています。			
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その時々状況や要望に応じてご本人様、ご家族様と相談し、可能な限り対応している。			
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の慰問等のほか花見等の行事を楽しんでいただいています。また、安全面では、緊急時に備え交番にも情報を提供している。			
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者様、ご家族様と相談し、希望する医療機関に受診されています。ご家族様受診対応できないときや緊急時には事業所が対応し、受診結果をご家族様に報告している。	定期受診は家族が対応し、往診を利用されている方もいます。週1回の訪問看護師があり24時間オンコール対応により健康管理が行われ利用者、家族の安心に繋がっています。必要に応じて歯科、皮膚科の往診も行われています。また、家族の意向もあり精神科の訪問看護をお願いしている方もいます。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	スタッフは日々のかかわりの中で、体調の異変等を看護師や訪看に報告し、指示を仰いでいます。またご家族様に報告し受診対応している。			

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	利用者様が入院した際には情報を提供し病院にも足を運び医療関係者、ご家族様ともに連携した関係づくりに努めている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所で行えることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	契約時に説明を行い、理解に努めています。重度化した場合は、その都度ご家族様と事業所の限界等も説明させていただき対応している。終末期には、ご家族様、事業所、医師、スタッフとともに、方針を共有し支援しています。	利用者、家族に重度化した場合における対応に係る指針により説明しています。主治医から家族に説明があり思いや意向を確認しながら方向性を決め、訪問看護師、事業所等と連携を取りながら看取り介護に取り組んでいます。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	事故発生時の緊急マニュアルが作成されており、スタッフと共有している。また、救命講習会には全員が参加、施設内にはAEDが設置されている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	緊急マニュアルを作成、火災は年2回、災害は年1回の訓練を行い、消防、町内会様より意見、改善点等をいただき反映させている。	年2回、昼想定火災訓練と浸水災害からの火災を想定した避難訓練を実施しています。例年は家族や町内会長などの参加がありましたが、今年度はコロナ禍の為参加を見送っています。停電時に備えて発電機やポータブルストーブなどが準備されています。	
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	利用者様の人格を尊重し、言葉かけ等にも気を付け話をしているが、そうでないときもありスタッフ同士で意識を高めあい、誇りやプライバシーを損ない、言葉かけに注意していきたい。	法令遵守の研修を行いプライバシーの保護や個人情報口外しない事を確認しています。書類関係は適切に管理されています。接遇や言葉遣いなどに配慮したケアを心掛けています。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者様の望んでいることを自己決定できるよう支援しています。また、言葉で表せない方は、表情や行動で見分け、支援に努めています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な一日の流れがあり、職員のペースになりがちですが、利用者様の意思を確認し希望に添えるよう支援に努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	毎月訪問理容室がこられ、希望者を確認、利用しています。また、季節、外出時の天候等に配慮し支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	献立を組んで健康状態、嗜好等にも配慮しているが、献立表を回しているため、新しいメニューをなかなか増やすことができない。調理準備はできていないが片付等できることに對し支援している。	今年度は、近隣系列の特養から管理栄養士によるバランスの取れたおかずが届けられ、事業所では主食と汁物を用意し、利用者一人ひとりに合わせた形態で提供されています。利用者は出来ることを行っています。現在のキッチンを改良し事業所で調理全般を行い配膳する予定と成っています。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	生活記録に一日の食事量、水分量を記録し対応している。また、ひとり一人の量、形状等を把握し提供している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時、毎食後口腔の声掛けをし、必要に応じスタッフが対応し清潔保持に努めています。歯科医とも連携を取っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	排泄表を付け、リズムや習慣を把握しトイレでの排泄を支援している。	自分自身の意志でトイレでの排泄を行っている利用者もいます。座位が保てない方や同性を希望される方もおり声掛け誘導で出来るだけトイレでの排泄を支援しています。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	ヨーグルト、牛乳、食物繊維の含まれた食品等を提供、水分、運動への働きかけ等個々に応じ対応し、看護師とも相談し予防に取り組んでいる。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	時間帯は決まっているが、希望の有無を確認し週2回以上の入浴を行っている。	週2回を基本に利用者の希望や体調を考慮し、同性介助やシャワー浴などに対応して入浴しています。拒否がある場合は無理強いせずタイミングを図りながら清潔を保つことを心掛けています。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	一人ひとりの生活習慣や生活リズムを大切に体調等に配慮して安心して休息や午睡ができるよう支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	一人ひとりの薬の内容と理解に努めている。薬の変更があった場合は連絡ノート等でスタッフ全員で情報を共有し体調変化が見られた場合は看護師、かかりつけ医へ報告、指示を仰いでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	楽しみを持ち過ごしていただけるよう支援に努めています。家事等出来ることをして頂いたり、レクリエーション等で気分転換等の支援をしている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	希望に沿ってはなかなかできていないが、花見や買い物レク、散歩等支援している。	新型コロナウイルス感染症が発生してからは外出がままならない状況ですが、家族との受診で外出することもあり気分転換に成っています。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金を所持されているも、希望になかなか沿えずご家族様にお願いしている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば電話、手紙のやり取りができるよう支援している。また、携帯電話をお持ちの利用者様もおり、わからなくなったときなど職員が対応を支援している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングには日差しが差し込み、加湿器等で環境を整えている。また、壁には季節に合った飾りをして、居心地よく過ごせるよう工夫している。	リビングは明るく開放感があり季節の飾りつけがされイベントや日常の写真が飾られています。温湿度は加湿器やタオルなどで生活環境を整え居心地よく過ごせるよう取り組んでいます。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファに座られたり、休まれたり個々の思いの場で過ごされています。テーブル配置等、導線を配慮し席替等も工夫している。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室には馴染みの物が置かれ、ご家族様の写真等置かれたり利用者様の使いやすいよう工夫しています。	居室にはクローゼットや洗面台が設置されており、使い慣れた家具などが持ち込まれています。利用者が本人らしく安心して日常が送れるよう支援しています。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	壁、トイレ、廊下には手すりが配置され一人ひとりが安住に生活が送れるよう工夫しています。		